

平成30年5月16日（水）、大田市立高山小学校3・4年生13名に対して、第1回みーもスクールとして、「人工林の話」と「間伐材の和紙作り」の指導を行いました。

高山小学校には学校林があり、校舎から目の前に人工林を見ることができます。人工林は植えてから、使える木に成長するまでに間伐をする必要があるという事を体を使って体験しました。



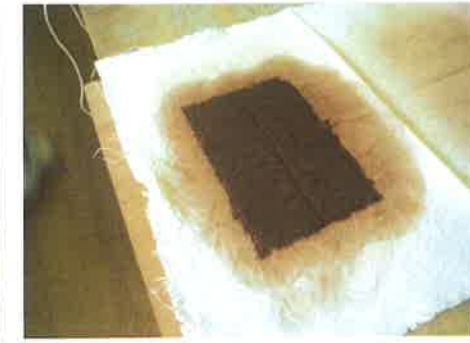
和紙についての基本のお話を聞いてから、実際に和紙作りをしました。まず、タブの葉からネリづくりをして、ネバネバの感触を楽しみながら体験しました。続いて、間伐材を利用して事前にヒノキの甘皮を削り3時間煮込んで、水にさらして作ったものを、木槌でたたいてはさみで細かく切り、ネリと混ぜて和紙の材料をつくりました。



一通り紙の漉き方を見てもらってから、一人ずつ紙漉きを体験しました。



アイロンでやけどをしないように十分注意しながら、最後の仕上げをしました。



世界に一枚しかない手作りの和紙を、葉として大事に使ってくれるそうです。

平成30年6月27日（水）、大田市立高山小学校3・4年生13名に対して、第2回みーもスクールとして、「ミニ森の健康診断」と「間伐材を使った染め物づくり」の指導を行いました。

森の健康診断では学校林に出かけ、100円グッズで作れる器具を使用して、中心木を決めたり一定の範囲内の落ち葉などの状態を観察したり、木の直径や、木の高さを測定したりして、今の森の状態を判定しました。



安全に作業ができるよう、森に入る前の注意をしてから実施しました。初めて使う器具ばかりで、みんな興味津々でした。結果は「過密」となりましたので、今の状態で、何本か切れば良いことがわかりました。



間伐したヒノキの皮を3回煮出して事前に準備しておいた染液を使って、ヒノキの皮の染物作りの指導をしました。初めて染物をする児童ばかりでしたので、輪ゴムで絞ったのがどのような模様になるかみんな楽しみにしていました。染めている間に、染物とはどのようにしてできるのか？どんなもので染物が作られているか？などについて話をしました。



ミヨウバンの媒染液に浸けて水洗いをしたら、薄ピンク色に白い模様のきれいなハンカチができました。



平成30年7月12日（木）、大田市立高山小学校5、6年生14名に対して、第3回みーもスクールとして、「人工林の話」と「間伐体験・丸太動物づくり」の指導を行いました。

人が植えた木は成長する過程において間伐が必要だということを体を使って確認しました。



間伐する際に周りの木を切って、足場をきれいにすることを体験し、2本の木を協力して倒し枝を切って片づけました。

学校林に光が入ると同時に丸太動物を設置する場所を確保する事が出来ました。



予め丸太に切り、外皮をはぎ、乾かしておいたスギやヒノキを使って丸太動物作りをしました。

顔の表情や形をいろいろ工夫して作りました。自分の動物を何にするか色々迷っているようでしたが、ユニークなものや動物そっくりにできているもの、木目を上手に活用するなど、思い思いの楽しい作品ができました。時間がかかりましたが、最後の仕上げは特に念入りに一生懸命取り組みました。

